



町内や近隣から多くの主婦らが訪れた  
おびら地場産品・3直市

農産・水産・商工の3業種が一同に出店するおびら地場産品・3直市が文化交流センター駐車場で開催され、町内や近隣から訪れた主婦らで賑わいました。

3直市は町内の女性グループや南るもい農協、新星マリン漁協、ほつぶすてつぶなど併せて11団体が参加しました。

会場では、新鮮な野菜や生花、魚介類、農水産物加工品のほかパンや小平産黒毛和牛肉など多彩な地場産品が並び、主婦らが次々とお目当ての品を買い求め、販売開始から1時間程でほとんどの商品が売り切れる盛況ぶりでした。

8 | 12  
地場産品  
ずらり

おびら地場産品  
3直市



会場を盛り上げた「子供仮装盆踊り」

最終日の16日には、毎年恒例の子供仮装盆踊りや賞金が当たった一般仮装懸賞盆踊りが行われ、子供仮装盆踊りでは、約40組がアニメのヒロインや特撮ヒーローなどに扮して会場を沸かせました。

子供仮装に続き行われた一般仮装懸賞盆踊りでは、西遊記やゲゲゲの鬼太郎、水泳の北島康介選手など団体7組、個人12人が審査員にアピールしながら、見物客を楽しませました。

8 | 14~16  
夏の一夜  
楽しむ

納涼盆踊り大会



誓いの言葉を読み上げる若者代表

この後、参列者一人ひとりが祭壇に白菊の花を献花し、開拓先人や戦没者の冥福を祈りました。

小平町慰霊祭が文化交流センターで開かれ、遺族、来賓、町関係者など約70人が参列しました。

慰霊祭では国家斉唱、黙祷の後、横濱町長を始め、来賓から慰霊の言葉が述べられました。続いて、町内の若者を代表し、杉本強さん、伊藤恵子さん、櫛引瞳さんの3人が「輝ける未来に向かって力強く進みます」と誓いの言葉を読み上げました。

8 | 19  
戦没者らの  
冥福祈る

小平町慰霊祭



安全旗と啓発グッズを受け取るライダー

町内では、北海道を旅行するライダーの通過が多いことから、事故のない楽しい旅をしてもらおうと啓発活動を行っています。

警察官の誘導で止められたライダーたちは、交通安全関係者と会話しながら、安全旗を荷袋に取り付けていました。

8月19日の「バイクの日」にちなむ街頭啓発活動が、石黒石油(株)前の空き地で行われ、交通安全関係者らが、通過するライダーにミニ交通安全全旗と啓発グッズを手渡し、安全運転を呼びかけました。

8 | 19  
事故のない  
楽しい旅を

バイクの日  
交通安全啓発